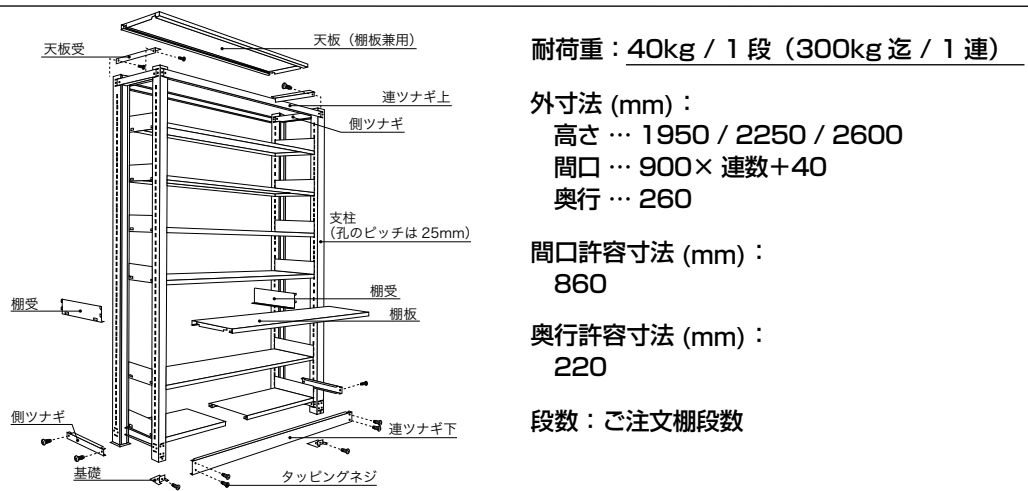


スチール棚 (ホワイトラック KCJA) 組立説明書



二人で作業

※組み立てる前にこの組立説明書を必ずお読みください。組み立て後は組立説明書を大切に保管してください。



耐荷重: 40kg / 1段 (300kg 迄 / 1連)

外寸法 (mm):
高さ … 1950 / 2250 / 2600
間口 … 900 × 連数+40
奥行 … 260

間口許容寸法 (mm):
860

奥行許容寸法 (mm):
220

段数: ご注文棚段数

設置上の警告



必ずお守りください

組み立てはスペースに余裕のある平らな場所を選定し、部材・部品を確実に結合してください。棚の落下や転倒による事故の原因となります。

- 重量物なので組み立ては2人以上でおこなってください。
- 金属製のため部材の切り口や棚板のコーナー部分等が鋭利となっている場合がありますので、軍手等をご使用されることをお勧めします。部材の取扱いには十分にご注意ください。

注意

組み立て・設置について

- 狭い場所での作業は避け、床や他の家具等にキズがつかないように丁寧に取り扱いください。
- 必ず純正部品をお使いください。純正部品でないと、十分な強度が得られません。
- 必ず平らな場所へ設置してください。床が不安定だと、棚が転倒することがあります。また、棚板を踏み台代わりにしたり、上に乗ったりしないでください。

使用について

- 耐荷重を超えて使用しないでください。破損する恐れがあります。荷物は一カ所に偏らず平均的に置いてください。集中荷重をかけると棚板に無理が生じて曲がる場合があります。
- 下段より上段のほうに重いものを置かないでください。重心が上になり不安定になります。

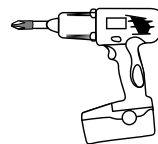


お手入れ方法

- ボルトやナットのゆるみが発生した場合は、増し締めをおこなってください。
- 通常の汚れは固くしぼった布でから拭きしてください。汚れのひどい場合は、薄めた中性洗剤を使用し、その後水分が残らないように十分に拭き取ってください。シンナー・アルコール類は使用しないでください。

工具

ご用意いただく工具

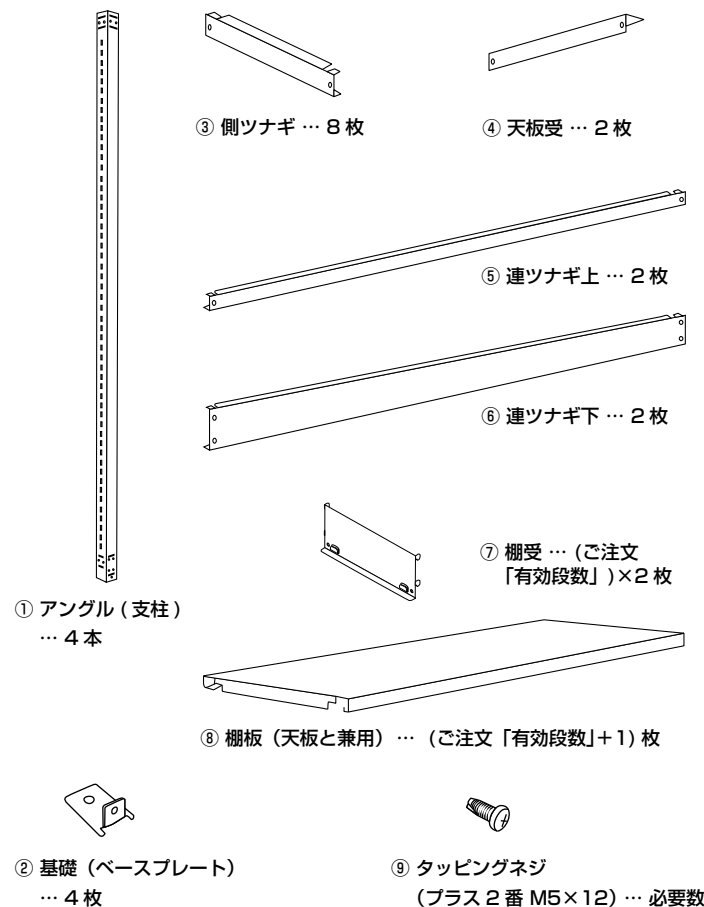


電動インパクトドライバー 及び プラスビット (2番)

※タッピングネジの手締めドライバーによる固定は、めねじ加工や締め付け強度等の構造上、大変固くなっており、電動ドライバーでの取り付けを推奨しております。電動ドライバーを使用することでスムーズなネジの取り付けが可能となります。

組立部材

※棚 1 台の内容物です。



※最初に必要な部材が揃っているか確認してください。似たような部材でも上下左右で異なる場合がありますのでご注意ください。

販売元

有限会社 オーエス商会

TEL: 0263-88-5730

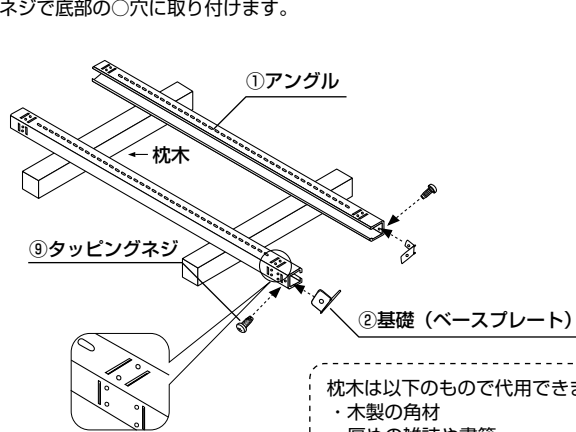
受付時間: 10:00~17:00

製造元

金剛株式会社

1. ベースプレートの取り付け

- 枕木の役目となる棒等を用意します。
- 枕木の上にアングル（支柱）を2本寝かせるようにして配置します。このとき、太い方の④連ツナギ（連ツナギ下）を挿入できる2段の孔がある方を下にして配置します。
- アングルに基礎（ベースプレート）をはめ込み、タッピングネジで底部の○穴に取り付けます。



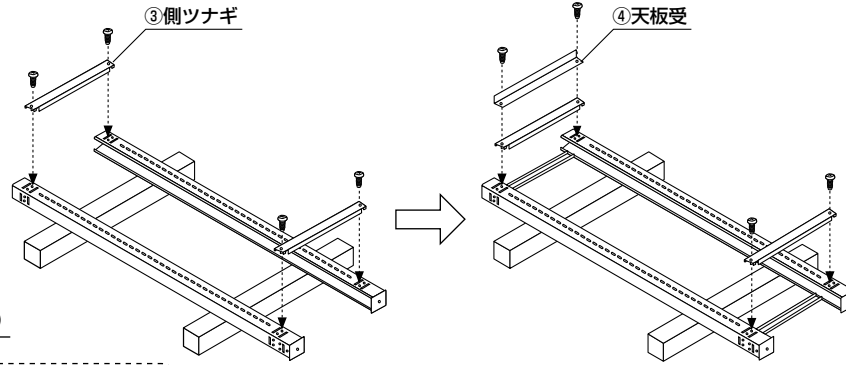
※太い「連ツナギ下」が入る方（孔が2段になっている方）を下にする

枕木は以下のもので代用できます。

- ・木製の角材
- ・厚めの雑誌や書籍
- ・ティッシュの箱
- ・段ボールを丸めてテープでとめたもの etc

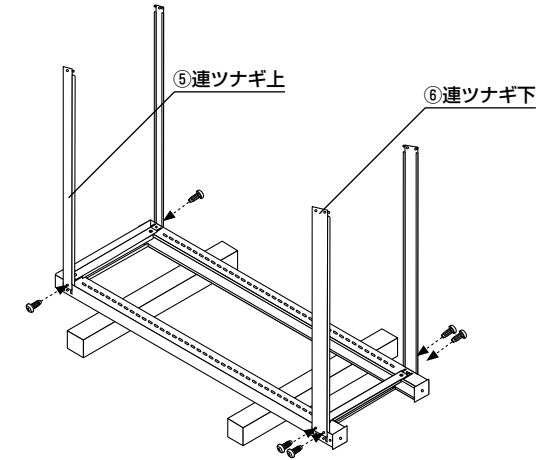
2. 側ツナギと天板受の取り付け

- アングルの上部と下部のそれぞれの穴に、側ツナギをはめ込み、タッピングネジで取り付けます。
- 片側（棚の外側）に側ツナギを取り付けたら裏返し、反対側（棚の内側）も同じように取り付けます。ただし、反対側のアングルの上部には、天板受を外側にセットして取り付けます。
- 1～2の工程で組み立てたアングル+側ツナギ+天板受のセットをもう一組組み立てます。



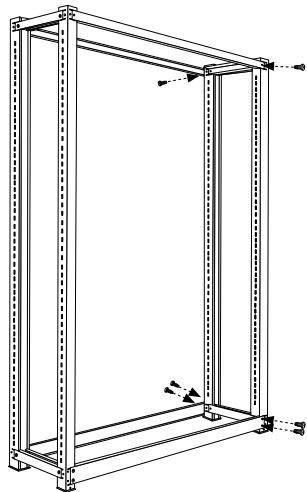
3. 連ツナギ（上・下）の取り付け

- 1～2の工程で作った二組のアングル+側ツナギ+天板受セットの片方に、連ツナギ上および連ツナギ下をタッピングネジで取り付けます。このとき、天板受がある方向にむけて取り付けます。
- 取り付け後、棚を起こします。



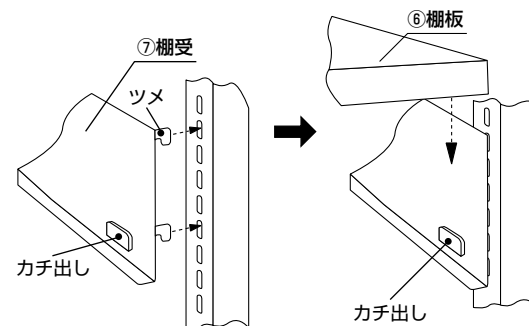
4. 躯体（構造体）の完成

- 起こした棚に対して、2の工程で組み立てたもう一組の「アングル+側ツナギ+天板受」のセットを、タッピングネジで取り付けます。これで躯体（構造体）が完成しました。



5. 棚板の取り付けと固定

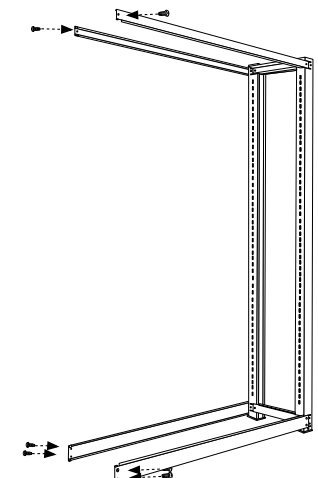
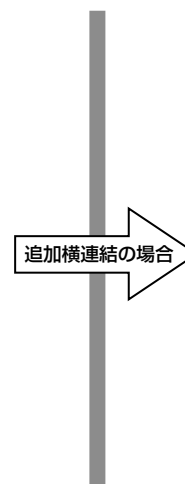
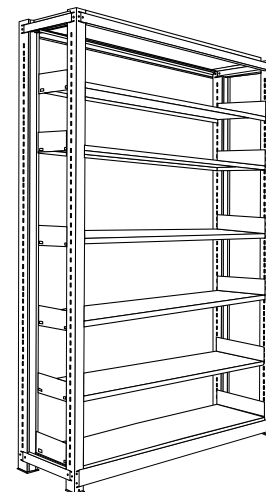
- 最上段の棚板を、天板受に乗せるようにはめ込みます。
- 最上段以外（最下段と中間の棚）は、棚受をアングルの孔に差し込んで固定し、棚板をはめ込みます。
- 棚受にあるツメをアングルの孔に引っかけるようにして取り付けます。このとき、各段が必ず左右同じ高さになるようにします。
- 棚受の取り付けが終わりましたら、各段の棚板の取り付けをおこないます。このとき、棚受けのカチ出しを棚板の裏面にはめ込んで固定します。



注意 棚受けの高さが異なると、棚板が変形したり、落下したりする危険性があります。

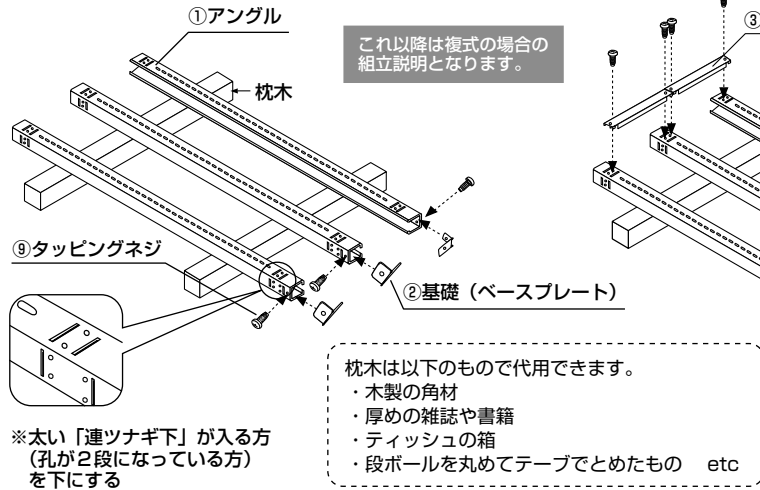
6. 完成！

- 棚板の取り付けと固定が終わりましたら、棚の設置場所に移動させて完成です！
- 横に追加で連結する場合、1～3の工程を2本のアングルに対しておこない、6で完成した基本の棚にはめ込み、タッピングネジで横に追加で取り付け、棚受および棚板を取り付けたら完成です！



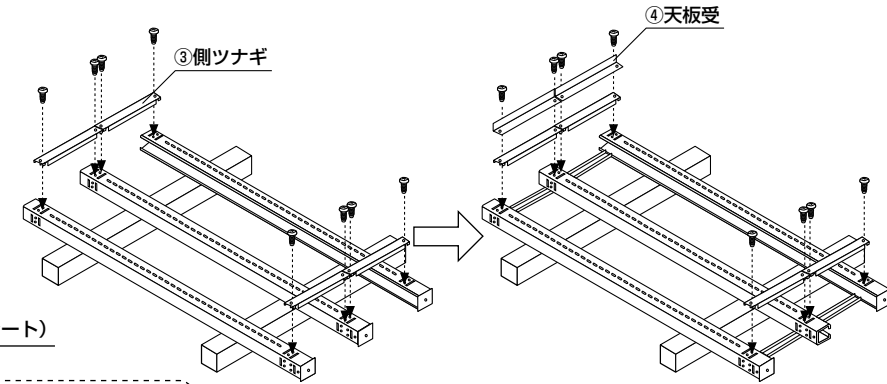
1. ベースプレートの取り付け

- 枕木の役目となる棒等を用意します。
- 枕木の上にアングル（支柱）を3本寝かせるようにして配置します。このとき、太い方の④連ツナギ（連ツナギ下）を挿入できる2段の孔がある方を下にして配置します。
- アングルに基礎（ベースプレート）をはめ込み、タッピングネジで底部の○穴に取り付けます。



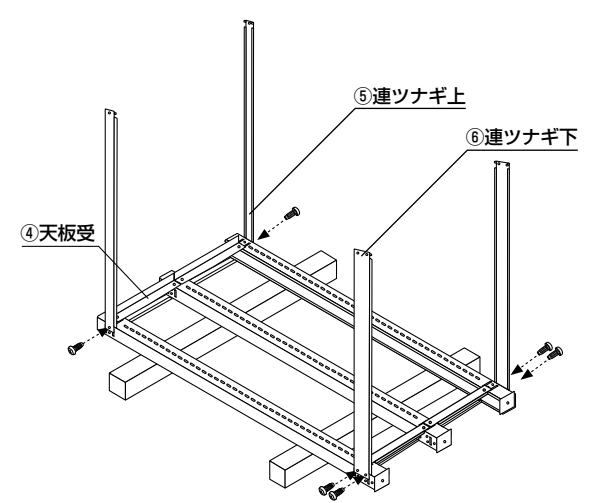
2. 側ツナギと天板受の取り付け

- アングルの上部と下部のそれぞれの穴に、側ツナギをはめ込み、タッピングネジで取り付けます。
- 片側（棚の外側）に側ツナギを取り付けたら裏返し、反対側（棚の内側）も同じように取り付けます。ただし、反対側のアングルの上部には、天板受を外側にセットして取り付けます。
- 1～2の工程で組み立てたアングル+側ツナギ+天板受のセットをもう一組組み立てます。



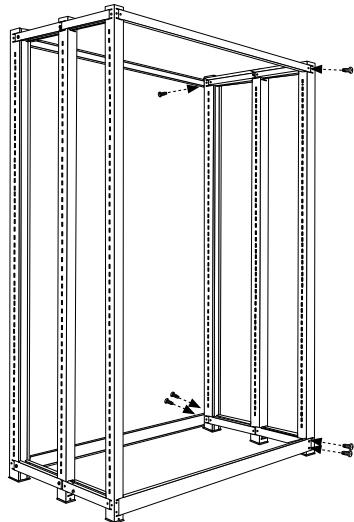
3. 連ツナギ（上・下）の取り付け

- 1～2の工程で作った二組のアングル+側ツナギ+天板受セットの片方に、連ツナギ上および連ツナギ下をタッピングネジで取り付けます。このとき、天板受がある方向にむけて取り付けます。
- 取り付け後、棚を起こします。



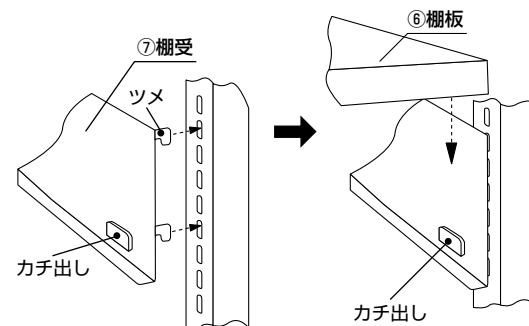
4. 躯体（構造体）の完成

- 起こした棚に対して、2の工程で組み立てたもう一組の「アングル+側ツナギ+天板受」のセットを、タッピングネジで取り付けます。これで躯体（構造体）が完成しました。



5. 棚板の取り付けと固定

- 最上段の棚板を、天板受に乗せるようにはめ込みます。
- 最上段以外（最下段と中間の棚）は、棚受をアングルの孔に差し込んで固定し、棚板をはめ込みます。
- 棚受にあるツメをアングルの孔に引っかけるようにして取り付けます。このとき、各段が必ず左右同じ高さになるようにします。
- 棚受の取り付けが終わりましたら、各段の棚板の取り付けをおこないます。このとき、棚受けのカチ出しを棚板の裏面にはめ込んで固定します。



注意 棚受けの高さが異なると、棚板が変形したり、落下したりする危険性があります。

6. 完成！

- 棚板の取り付けと固定が終わりましたら、棚の設置場所に移動させて完成です！
- 横に追加で連結する場合は、1～3の工程を3本のアングルに対しておこない、6で完成した基本の棚にはめ込み、タッピングネジで横に追加で取り付け、棚受および棚板を取り付けたら完成です！

